



12月3日(土)〜9日(金) 障害者週間
 12月4日(日)〜10日(土) 人権週間



表紙

子育て支援センターの育児講座「ぴよぴよタイム」に参加していた大保つかささん、結翔ちゃん親子に協力いただきました。

CONTENTS

特集

「NO! 障がい者差別」の取材で見えた、人々の思い。愛にあふれ幸せを願う“ふくつ”のカタチ。

だいじょうぶ!のふくつ魂

三者三様、十人十色、百人百様。人はそれぞれ性格や考え方が違いますし、姿形も違います。障がいだって、生まれつきのもの、病気やけがによるものなどさまざまです。大事なことは、お互いを理解し、尊重し、認め合うこと。しかし、残念なことに今年7月、神奈川県知的障がい者施設「津久井やまゆり園」で多くの方が殺傷される痛ましい事件が起きました。「障がい者は生きる価値がない」という容疑者の動機に、怒りや悲しみ、不安を感じた人は少なくありません。そこで、差別や偏見のないまちに向けて、そして福津人の不屈の精神と福×2の幸せを願って特集を組みました。共に生きましょう。福津なら、きっとだいじょうぶ。

第1部 事業所 × 困惑 = 私たちは支える ③

障がいのある人が利用している生活介護事業所、就労支援事業所、入所施設の3か所を取材し、事件による困惑や日常の事業所運営のことなど、理事長たちに話を聞きました。

第2部 障がい者家族 × 不安 = 前を向こう ⑪

隠していないけど知られていない、知られていないけど知ってもらいたい。そんな、障がいがある人とその家族の気持ちやアンケート結果、入所施設の1日の様子などを紹介します。

第3部 地域 × 愛情 = 幸せになろう ⑲

市長による車椅子体験などでの地域検証や、商店主や行政関係者の声、市民の愛や喜びにあふれた写真を紹介。「津久井やまゆり園」の家族会会長にも話を聞きました。

連載

- まちの話題 ⑳
- 男女がともに歩むまち、運命の一冊 ㉑
- 消費生活相談、発掘の現場 ㉒
- 情報広場 ㉓
- 世界遺産への道 ㉔

※福津市では「障害」の文字を使わず「障がい」と表記するようにしていますが、法律用語等の固有名詞はそのまま「障害」と表記しています。